令　和　　4　年　度

ケアハウス　リバーサイド　事業計画書

社会福祉法人　旭川聖会

１．基本方針

入居者の安心と健康の提供と、自由な居住性を目指し、職員は入居者一人一人に目を配り、クオリティーの高い住環境を提供するよう、職員は連携を密にした一致協力のうえでの援助を行う。

２．重点目標

（１）レクリエーション活動、外出行事等に工夫を凝らし、さらなる充実を計り、入居者が施設内で閉じこもりにならないよう変化と潤いのある生活を援助する。

（２）入居者の健康状態とメンタルケアに気を配り、いつまでも住み続けたいと思える施設にすることが出来るよう又、緊急時にも即応できるよう、職員の質の向上を目指す。

３．処遇内容

（１）入居者の多様性に対応できるようアンテナを張り、快適なケアハウスの生活を送れるよう援助する為、職員は更なる質の向上に取り組む。資質向上のための援助はこれを惜しまない。

（２）園芸活動

日々の生活に生きがいや楽しみを持てるよう、敷地内の畑や花畑を利用してもらい生活に張りと潤い、又、収穫後の新鮮な野菜を利用して入居者に食味していただく等、変化をつける。

（３）健康管理

毎年８月上旬、入居者全員に胸部 X 線撮影を実施。疾患の早期発見と啓発に努める。

又、嘱託医による健康相談、バイタルチェックを行い、医師による面談で安心を与える。

入居者個々の病歴、現在かかっている病気、通院歴等をケース記録に記録しておき、緊急時に役立てる。

（４）相談業務（苦情受付業務）

何を苦情と捉えるかによって苦情の質も違ってくるので、入居者とのコミュニケーションを密にし、要望や希望がどこにあるのかを把握すること。職員から能動的に働きかけることにより、話し易い雰囲気を演出すること。

（５）安全管理

年２回以上の防災、避難訓練を通じ入居者の災害に対する意識を高める。又、職員は常に施設内の安全に気を配る。

（６）その他

＊掃　除　　築年数の経過とともに、手を抜くとすぐ汚い施設になってしまう。敷地内の全般に注意を払い、館内外共に清潔で快適な住環境にすること。

＊お誕生日会　月１回、お誕生日会を開催。普段の日でも食事は楽しみなもの、ましてや誕生会の食事はもっと楽しみにしているはずである。委託業者ともミーティングを密にして華やぐ雰囲気の食事作りに努める。又、誕生会に行うゲームの景品や体操の景品にも細やかな配慮を行い、入居者の楽しみを倍増させうる交流の場として活用する。

＊医療相談　　「並木通りクリニック」の医師と、入居者とも意志の疎通が図られてきており、同行の看護師さんにバイタルチェックをしてもらうのを心待ちにしている人もおり、さらなる参加者をつのりたい。

＊野外活動　　例年企画してきた大型ショッピング店への買い物ツアー、お花見バスハイク、サクランボ狩り等は、昨年、感染症拡大を不安視して規模を縮小しておこなった。参加される方は楽しみにされているので、感染症状況を見定めたうえで企画していく。

＊行　　事　　「隣接の幼稚園園児との昼食行事」は、他施設にないリバーサイドの重要な行事であるが、昨年は感染症拡大を不安視して控えてきた。市内の感染状況を見定めたうえで、この行事を再開し、園児による開設記念イベントでの演技披露やプレゼント交流などを行う。

＊研　　修　　施設長、職員は定期的に認知症、虐待防止、事故防止及び感染症対策に関わる研修会等に参加して自己研鑽に努める。

　栄養士も栄養管理、食中毒などの感染症予防について、日々学習し、施設内の衛生管理や入居者の健康管理に努める。